

よこはま支部だより

第 67 号 2017 年 夏



一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部
THE YOKOHAMA BRANCH KANAGAWA PREFECTURE
SOCIETY OF ARCHITECTS & BUILDING ENGINEERS



「第 24 回横浜支部総会」

及び「記念講演会」開催

第 1 部 総会記念講演

14 時 00 分～ 15 時 35 分
参加者：90 名

テーマ「日本的なるもの」から学ぶ建築の可能性
“IN-BETWEEN” な思考 丹下健三・イサム・ノグチ

講師：堀越 英嗣（芝浦工業大学教授）

横浜支部の総会記念講演会に初めて参加しました。日本建築は「空間的・行為的」であることに対し、西洋建築は「物質的・構築的」との比較は分かりやすく、また丹下健三先生の桂離宮写真集の紹介では、美しい写真集に魅せられました。大胆にトリミングすることで石畳・苔・畳など自然の質感を際立たせる手法は圧巻で、「建築は美しい自然を引き立たせる為の背景」であり、「幾何学と自然のバランス」による日本的な空間美を堪能しました。ご自身の作品である「とっとり花回廊」、イサム・ノグチと共同した「札幌モエレ沼公園」の解説では子供達が次々に遊び場を発見して遊ぶ様子が目に浮かび、私も子供を連れて訪れようと心に決めた講演会でした。



横浜支部 稲村和美

総会記念後援	1 頁
総会報告 (1)	2 頁
総会報告 (2)	3 頁
すみだ北斎美術館 (1)	4 頁
すみだ北斎美術館 (2)	5 頁
テニス同好会	6 頁
テニス同好会 ワイン同好会	7 頁
絵画同好会	8 頁
横浜市建築局からの お知らせ	9 頁
新委員長挨拶 その他	10 頁





「平成 29 年度 第 24 回通常総会」議事録

日時：平成 29 年 5 月 20 日（土）15 時 45 分～16 時 20 分

場所：ワークピア横浜

出席者：49 名 委任状：176 名

司会：小笠原 泉

書記：落合 博

第 2 部 総会

1. 支部長挨拶 渡邊 一郎

建築士会の目的は、建築士法に明記してあるように、品位の保持、会員に対する指導、研修、情報の伝達です。また 1 級、2 級建築士試験の運営を行い、大変尊い活動をしているので誇りを持ってください。

年間予算約 170 万円では、なかなか会員の隅々まで情報が伝わらず、ご迷惑をおかけしております。

本会、支部共に限定された環境で活動をしているので御理解ください。大半がボランティアですが、今後も建築士会活動に積極的に参加し、盛り上げてください。

2. 議長選出 議長 渡邊 一郎

3. 議事 1) 平成 28 年度活動報告

総務委員会	報告者	小笠原 泉
厚生委員会	報告者	高橋 伸廣
技術・情報委員会	報告者	小笠原 泉（代理）
広報委員会	報告者	落合 博

2) 平成 28 年度収支決算案・監査報告

会計	報告者	山成 芳直
監査報告	報告者	藤田 武

質疑応答

質問者：吉原 直美 厚生委員会の「会員増強費」の使われ方について。

回答者：山成 芳直 新入会員の参加費を減額し、参加を誘導した。その原資に会員増強費を充てた。

他に質問者なし。拍手にて承認。

3) 平成 29 年度活動計画案

技術・情報委員会	提案者	渡邊 一郎（代理）
厚生委員会	提案者	高橋 伸廣
広報委員会	提案者	落合 博
総務委員会	提案者	小笠原 泉

4) 平成 29 年度収支予算案

会計	提案者	山成 芳直
----	-----	-------

質問者なし。拍手にて承認。



5) 役員の一部変更

副支部長の「加藤高明」氏が退任、「畠 宏好」氏が新任。
技術・情報委員会委員長「田中克樹」氏が退任、「櫻田修三」氏が新任。
質問者なし。拍手にて承認。
すべての議事終了、議長解任。

16時16分

4. 来賓紹介

・坂和 伸賢 横浜市技監兼建築局長 神奈川県建築士会横浜支部顧問
・平山 正義 横浜市建築士事務所協会理事長
・藤田 武 神奈川県建築士会横浜支部相談役
来賓挨拶 坂和 伸賢

終 了

16時20分

5. 関東ブロック大会について

青年委員会委員長 奈良 直史

この後 16時40分より「懇親会」



第3部 懇親会

司 会 高橋 伸廣
参 加 者 46名
乾 杯 発 声 星 雅巳
中締め挨拶 落合 博
終 了 18時30分

横浜支部の総会と掛けまして
都市計画と解く。その心は？
必ず「こうえん」があります。



『美術館建築シリーズ～すみだ北斎美術館』に参加して

県庁職域支部 小寺 亮

平成 29 年 2 月 3 日、昨年秋にオープンしたばかりの「すみだ北斎美術館」の見学会に参加させていただきました。平日の午前中ということもあり、両国駅は観光客が少なく静かな佇まいで、豆まきで各地へ巡業中なのか、力士の姿も見えませんでした。駅前には、国技館と江戸東京博物館というスケールの大きな建物がありますが、それ以外は中低層の建物が密集する地区で、街なかには空が広いなあ、と思えるところです。

そこからバス通りをしばらく歩いたところにある、銀色の N 字のような立体がその美術館です。公園と一続きになった敷地の奥にあるためか、あまり圧迫感を感じません。総武線の車窓からは、この銀色のかたまりが目飛び込むと「はっ」としますが、実際に現地に行くとそれほど異質なものを感じないのは不思議です。それもそのはず、設計した妹島事務所の福原氏の講義を聞いてなるほどと思いました。



それほど広くない敷地なので積層する必要がある、美術品展示のために外壁は不透明としなければならない、さらに津波対策として収蔵庫を上階に置く必要がある、その一方で、周囲の街並みに影響を与えないようにしなければならない。そこで、ボリュームを分割し、アルミパネルの映り込みによって、まわりの街と融和する方法を生み出したそうです。

このボリュームの分割によって生まれたのが、どの方向からも N の字に見えるスリットで、その奥にエントランスを置く。これは、いろいろなところからアプローチができると同時に、内部から外の様子が見通せることによって、金沢 21 世紀美術館から続く、「いかに建物を開いていくか」というコンセプトを実現したものだそうです。また、アルミパネルに映り込む光景は、季節や時間によって刻々と変化し、外観にいろいろな表情を与える。これは、いろいろな方向から見た視点のパースの組み合わせでできている北斎の絵と通じるものがあるというから、驚きのひとことです。



以上の造形は、コンペ時から実物に至るまで膨大な数の模型作成とモックアップによる詳細な検討とともに、現場における高い技術力によって実現されたものであるという、半ば羨ましくもある苦労話を興味深く聞くことができました。

常設展示もさまざまな工夫がなされてわかりやすく面白いのですが、なによりもスリットから見える外の風景が楽しかったのが印象的でした。3階ホワイエからは聳え立つスカイツリーが、1階エントランスでは隣のスーパーに買い物に来る人々の姿、下町の日常生活が飛び込んできます。隙間から向こうがみえると、わくわくとした子どもの頃の感覚が甦り、つい覗きたくなるし、通り抜けたくなります。まるでこの建物が公園の遊具の延長にも思え、スカイツリーもおもちゃのように感じたのは、私だけでしょうか？建築雑誌などで語られる、「ボリューム感」や「街に溶け込む」等の抽象的でよく分らなかった言葉が、実感をもって理解できたような（気がする）、大変楽しい見学会でした。



テニス同好会便り

定例会報告 場所：金沢産業振興センターテニスコート

12月10日(土) 参加者7名
12月の忙しい時期でしたが、とても寒い日でしたが、4時間の定例会は、ゲームを中心に、寒さを吹き飛ばすぐらい盛り上がりました。

12月24日(土) 参加者10名
クリスマスイブの定例会でしたが、今年最後の打ち納めということで10名が参加しました。12月としてはとても暖かくベストコンディションの中、2時間の定例会はとても盛り上がりました。

平成29年1月14日(土) 参加者7名
本年第1回目(初打ち)は、大寒波が押し寄せていて、とても寒い中での定例会となりました。参加者は7名で、ゲーム中心にとっても盛り上がりました。

1月28日(土) 参加者10名
本日の定例会は久しぶりに大勢となり、とても盛り上がりました。急遽2面4時間に変更して十分に試合を楽しみました。定例会終了後、少し遅い新年会を行い、美味しいビールを頂きました。皆様、お疲れ様でした

2月11日(土) 参加者7名
例会の開始頃には雪がちらついて、とても寒い天候となりました。時間を4時間に延長しました。寒さにもめげず皆さんゲームに熱が入っていました。

2月25日(土) 参加者7名
2月末とは思えない晴天に恵まれ、熱の入ったプレーで楽しみました。



3月11日(土) 参加者8名
とても良い天気です。テニス日和となりました。久しぶりの参加者もあり、盛り上がりました。

3月25日(土) 参加者5名
今回も天気が良くテニス日和でした。参加者は少人数でしたがゲームはとても盛り上がりました。

4月22日(土) 参加者7名
コートの周りの桜も満開から2週間ほどがたち、葉桜になっていましたが、テニスにはとても良い季節となりました。少し暑い位でしたが、たっぷりゲームを楽しみました。

5月27日(土) 参加者7名
合宿後の定例会で、夏を感じるほどの暑い日、試合はとても白熱し、盛り上がりました。皆さんバテバテの様子でした。お疲れ様でした。

6月10日(土) 参加者10名
真夏を思わせるようで、とても暑く、日差しが強い日でしたが大勢の参加がありました。少し風が強かったため、皆さん風に悩まされていました。それでも、プレーは白熱しとても盛り上がっていました。

6月24日(土) 参加者5名
少人数でしたが、久しぶりの参加者がいて、プレーも盛り上がりました。



12月24日



1月28日



6月10日

同好会会員募集中！

テニスに関心のある方どなたでも参加可能です。特に女性大歓迎！お気軽に連絡下さい。
定例会は原則第2・4土曜日を予定していますが、予約状況により異なりますのでお問い合わせください。ご連絡の際はメールの場合でもお名前、連絡先の記入をお願いします。

連絡先：玉野 045-894-8452 FAX893-6614

春季合宿



鈴木 肇

5月13日(土)、10日(日) 場所: ニューウェルサンピア沼津 参加者5名

今年もテニス同好会恒例の合宿が開催されました。場所は静岡県沼津にある「ニューウェルサンピア沼津」で、交通アクセスも良く、自然の中でテニスを満喫、温泉で癒し、美味しい食事など、とても満足できる施設のため今年で6回目の利用となります。

今回の合宿は参加者が5名で合宿と言うよりはテニス好きの旅行という雰囲気でした。1日目は天気予報がバッチリの中してしまい雨模様でしたが、皆さん予定通り10時には現地に集合しました。体育館を予約していたので、早速、準備していたテーブルとバレーボール用のネットを利用して即席のテニスコート作り、幹事さんが準備のメニューにより練習、試合を楽しみました。多少ストレスは残ったもののテニスの雰囲気を味わえることができ満足でした。夕食まで時間があつたので、沼津漁港までドライブ、深海水族館にて日本一深い駿河湾の深海生物や生きた化石と言われるシーラカンスのはく製などとても珍しいものを見ることができ感激でした。1日目は、温泉で癒され、宴会&2次会と盛り上がり、皆さん早めに就寝しました。

2日目は天気も回復し、薄曇りでしたがテニスには良いコンディションでした。1時間延長して昨日の分を取り戻すかのように、たっぷり試合をすることができ、とても盛り上がり満足できました。

今年はとても人数の少ない合宿でしたが、テニス好きによる大満足の合宿でした。幹事様、合宿運営ありがとうございました。参加の皆様、お疲れ様でした。



ワイン同好会便り

*ワイン略歴

藤井 利時

私のワインを飲むきっかけは、1967年10月建築学会建築士会合同のカナダのモントリオール万国博覧会(EXPO67)見学です。これは1970年に行われる大阪万博の下調べの為です。モントリオール市はフランス語圏なので朝、昼、夕食にワインが付いてきました。

日本での第一次ワインブームは1981年、赤ワインにポリフェノールが多く含まれていて体に良い事が新聞・テレビ等で取り上げられたからです。これに限らずフォアグラやチーズ等コレステロールが溜まり易いものを多く摂っているフランス人の方が、アメリカ人より心臓病が少ないのは赤ワインを多く飲んでいるせいとのことでした。これは俗にフレンチパラドックスと昔から云われています。

ワインを飲むにあたり、最も大事なものは香りです。目隠しをし、鼻をつまんで飲むと高級ワインと並みのワインの違いが解らず、更に白か赤かも解らない位です。風邪を引くと味が解らなくなるのと同じです。匂いを嗅いだら具体的に言葉に表すことです。例えば香りの表現は、元々ヨーロッパの人の表現なので獣臭とかトリュフ、木いちご、ハーブ、スパイスの様だと云いますが、今は世界的に和食がブームなので昆布、出汁、干し椎茸、高級味噌、醤油の様との表現も世界に通じると思います。飲んでただ美味しいと云うだけでは解らないと誤解され易いものです。味覚には塩味、甘み、酸味、苦味と旨味(1908年東大教授の池田菊苗先生が昆布の出汁より発見した)の5種類がありますが、ワインの味もこれらがバランス良く揃っているのが良いと思います。

ワインだけでも、非常に美味しいものもありますが、種々の欠点が目立つものでも料理と一緒に飲むと非常に美味しくなるものもあります。ワインも料理もお互いを引き立てる良い例です。丁度、室内楽でピアノが弦を引き立て、弦がピアノを引き立てるのと同じです。ステーキのような脂がギトギトしたものは、コクがあり渋みや酸味のあるボルドーの赤のフルボディが合い、鶏、赤身の魚等は香りの良いブルゴーニュの赤が合い、白身の魚等はブルゴーニュの白が合うと思います。更に色合いから赤色系の料理は、赤ワインが、緑、黄色系の料理には白ワインが合うようです。食べ物と飲み物の色が近いと心理的に納得し易いのかも知れません。次回はボルドー編です。



絵画同好会だより

「 デッサン会へ始めて参加しました。それは「裸婦デッサン」 」

田中 克樹

12月4日（日）午後3:30、12月の陽気としてはめずらしく暖かく、よく晴れた日の昼下がりでした。その日は、絵画同好会が主催するデッサン会です。それも生まれて始めていきなり参加する裸婦デッサンですから驚きです。どのような状態でモデルが登場するのか……。 スケッチに入るにはどのような状況が繰り広げられるのか……。

不安と期待、多少の緊張感が入り混じった中で、いよいよ定刻となりましたが、多少予定時刻を過ぎてからモデルの入場でした。一目見た中、きれいにセットされた髪型の知的な美女の登場です。事前説明によると、中休憩10分をはさみ前半4ポーズ 小計50分、後半3ポーズ 小計50分 トータル100分の持ち時間で、7ポーズのデッサン会となります。モデルの体が一旦静止し、ポーズ決定次第声がかかり 開始となります。

画帳に線を走らせるのですが、なかなか全体のプロポーションがつかめず、ただただ時間が過ぎるだけでした。7ポーズ終了後に感じたことは当然なことなのでしょうが、ポーズには形があり、ポーズした中にも微妙な筋肉の動きがあり、そして手足の先の終着ポイントがあります。ポーズが決定し、そのプロポーションを描くことになるのですが、白い画帳に容姿端麗で均整のとれたモデルの体の線を定着させ、線画として表現することの難しさを、初めて痛感したデッサン会でした。最後に アドバイスなのか、激励の言葉なのかモデルからの一言をお聞きすることができましたので、ご披露します。

「裸婦デッサンが巧く描けたなら、他の写生は凡そマスターできますから……………」

2016.12.4 参加者9名



横浜市建築局からのお知らせ

今後求められる 建築物の省エネルギー化

今般、建築物の省エネルギー化の機運が高まってきています。

そこで、平成 29 年 4 月 1 日施行の『改正 建築物省エネ法』による規制強化の概要や、省エネ化の現状、動向などについて お知らせします。

1. 改正 建築物省エネ法による規制強化 ～2,000㎡以上の非住宅は適合義務化～

- ◆ 今回の改正で、**300㎡以上の建築物(非住宅・住宅とも)**には、所管行政庁(市)への**省エネ計画の届出が義務化**されました。
- ◆ **2,000㎡以上の非住宅建築物は、省エネルギー適合性判定**を受け、**適合することが義務化**され、建築確認の要件になりました。
- ◆ なお、**平成 32 年までに全ての新築住宅・建築物**について、段階的に**省エネ基準への適合の義務化が予定**されています。

【表1】 規模・用途別の規制内容と省エネ基準

		非住宅	住宅
建物規模	300㎡～2000㎡	届出	届出
	2000㎡～	適合性判定	届出
省エネ基準	1次エネルギー消費量	設計値/基準値 ≤ 1.0	
	断熱性能	適用除外	U _R ≤ 0.87 η _{RC} ≤ 2.8

2. 建築物の断熱化、省エネルギー化の動向 ～300㎡以上は9割以上が基準に適合！～

- ◆ 省エネ計画の届出があった建築物のうち、**9割以上が省エネ基準に適合**しています。(H29年4月から6月まで)
- ◆ また、省エネ基準を満たす**長期優良住宅や低炭素建築物も、毎年約 2,200 件ずつ増加**しています。
- ◆ 建築物の省エネ化の関心やニーズは高まってきており、今後、**断熱化、省エネルギー化はスタンダード**になっていくと想定されます。

【図1】 省エネ計画届出における適合状況(2017年4月～6月)



3. 省エネ基準適合のメリット ～税の減免に加え、健康にもメリットあり！～

(1) 省エネ基準適合で 税を減額

- ◆ 省エネ基準に適合する新築住宅は、**固定資産税に加え、都市計画税も1/2に減額**されます。
- ◆ **長期優良住宅**なら、さらに**2年長く減額措置**が受けられます。

【表2】新築住宅の減税制度(横浜市)

		一般住宅	省エネ対策住宅	長期優良住宅
減額率	固定資産税	1/2	1/2	1/2
	都市計画税	-	1/2	1/2
減額期間		3～5年	3～5年	5～7年

詳細は横浜市財政局HPを参照してください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/citytax/shizei/20111101174020.html>

(2) 断熱化でヒートショックを防止、有病率も改善

- ◆ **ヒートショック**による入浴中の年間死亡者数は、全国で約 17,000 人と推計^{※1}され、**交通事故による死者数の約4倍**にあたります。
- ◆ **断熱性能向上**は温度変化を緩和でき、**ヒートショック防止にも効果**があると言われています。
- ◆ また、**断熱性能が高い家へ転居**すると、アレルギーや心疾患等の**有病率が約 76%から約 44%に減少**したとの研究結果^{※2}もあります。

※1：独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所 『2011年一年間に約 17000 人が入浴中に死亡』 (2012年12月18日)

※2：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより 『断熱性能の向上による有病率の改善』 (<http://www.jccca.org/>)

技術情報委員会 新委員長あいさつ

10年の長きにわたり、活躍されました田中前委員長の活動を引き継ぐことは、大変なことと覚悟を決めています。技術情報委員会は、各委員が興味を持っているテーマを各自が企画して、皆でサポートとしていきます。そのような取り組み方が、息の長い活動につながっていると思っています。

ランドスケープや椅子、最近では「森」をテーマに植樹の活動にも取り組んでいます。森に関する企画を中心に、写真家との交流などにも取り組んで行きたいと思っています。

技術情報委員長 櫻田 修三



H.29 夏の納涼会のおしらせ

皆様方には益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。昨年好評を頂いたポートサイドヴィラにて、今年も夏の納涼会を開催致します。疲れを吹き飛ばす楽しいひと時を過ごしましょう。ご多忙中とは思いますが、皆様奮ってのご参加をお待ちしております。



日時：平成 29 年 8 月 25 日（金）

受付開始 17:30 開宴 18:00

場所：横浜アートグレイス・ポートサイドヴィラ

神奈川県横浜市神奈川区大野町 1-4

会場 TEL: 045-440-5588

会費：会員 4000 円

賛助会員 5000 円

※会員増強・体験キャンペーン

未入会者（建築士に限る）1,000 円

紹介者（会員） 3,000 円

***ご友人、知人をぜひお誘いください！！**



*編集後記

よこはま支部日より 67 号より、広報委員として編集作業に加わりました太田真理子です。今年度から支部活動に参加させていただいております。

落合委員長の下、活発に取り組んでいきたいと思っています。どこかで私を見かけたときには、声をかけていただけると嬉しいです。よろしくお祈りします。

太田真理子

*平成 29 年度、広報委員会は、下記の委員で活動致します。どうぞよろしくお祈り致します。

【広報委員】落合 博・玉野直美・丸山幸一
雨森隆子・遠堀太陽・畠 宏好・太田真理子

発行 一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部事務局
〒231-0011 横浜市中区太田町 2-22
神奈川県建設会館 5 階

Phone : 045-201-1284 Fax : 045-201-0784
<http://www.kanagawa-kentikusikai.com/>